

池袋駅案内サイン共通化ルールの検討について

1. 案内サイン共通ルール検討の背景

池袋駅地下空間の案内誘導サインに関しては、これまで、「池袋駅及び駅周辺整備検討委員会」の基に「地下空間整序化部会」、「池袋駅周辺地域再生委員会・基盤検討部会」の基に「地下空間WG」を設け、区と関係事業者により検討を重ねてきました。

一方、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、都内の主要ターミナルでも円滑な案内誘導に関する取組みが進められています。3月18日には、新宿ターミナル協議会が開催され、新宿駅における案内サインに関する基本ルールがとりまとめられました。同ルールでは、表記や表現の統一の他、サインの体系や配置についてもルールを定め総合的な改善を目指しています。

東京都を訪れる多くの来街者にとって、よりわかりやすく、利便性の高いまちを実現するためには、主要ターミナルにおける案内が一貫していることが重要です。そこで、池袋駅においても新宿駅基本ルールをベースとして、案内誘導システム等の共通化ルールの検討を進めます。

2. 池袋駅における検討体制

- ・「基盤検討部会」並びに「駅空間WG」(地下空間WGより改組)が、共通化ルールの検討を行います。
- ・「再生委員会」は、共通化ルールについて「基盤検討部会」からの報告を受けます。

